






平成29年度 現地検討会実施状況（治山技術の向上等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
保安林	平成29年度海岸防災林の 施業に関する部会現地検討 会	9月12日	宗谷森林管理署 宗谷総合振興局林務課	浜頓別町（民有林） 浜頓別町（国有林）	国有林	23名	海岸防災林造成の技術を確立する ため、海岸防災林整備事例の現地 検討会を実施	<p>国有林及び民有林の列状間伐実施箇所を見学。 国有林については、署担当者から浜頓別地区海岸防災 林全体計画について説明し、今年度の実施状況を林内に 入り確認した。</p> <p>民有林についても、振興局担当者の説明後林内状況を 確認した。</p> <p>アンケートでは「整備事例の蓄積」「現地検討会の開 催」が防災林施業の推進に必要なとの回答が多く寄せられ た。</p> <p>今後も海岸防災林造成技術の確立に向けて、現地検討 会等により整備事例等を積み上げていく予定である。</p>	
					民有林	名			
					自治体	12名			
					事業体	10名			
					研究機関	1名			
					その他	名			
					合計	46名			
								署担当者による説明	
保安林	東風連地区外防風林現地意 見交換会	10月24日 ～25日	上川北部森林管理署	名寄市（国有林） 士別市（国有林）	国有林	19名	樹木の老齢化や部分的な疎林化、 農耕地・農業水路への被害等、防 風林としての機能低下が懸念され ていたことから、機能維持・強化 を目的とした防風保安林治山事業 全体計画を策定するため、整備方 法について現地検討を実施	<p>署担当者及び事業者から防風林の現況及び森林整備の 検討案を説明した後、林相区分が異なる林小班を8ヶ所ほ ど選定し、それぞれでの林相に最も適した整備方法等に 係る意見交換を行った。</p> <p>有識者を含む出席者からは、「伐採木の選定方法とし ては枝張りの良い優勢木を残していくことを考えるべき である」「植栽については間伐をこまめに実施しないの であれば疎植の方がいい」等の意見があった。</p> <p>今後、地元関係者向けの説明会を開催し、策定した防 風保安林治山事業全体計画については平成30年度から事 業として取り組んでいく予定である。</p>	
					民有林	名			
					自治体	13名			
					事業体	2名			
					研究機関	2名			
					その他	名			
					合計	36名			
								有識者等との意見交換	
治山施設	平成29年度治山勉強会 「災害発生直後の初動対応 及び被災箇所の現地調査の 手法」	10月31日 ～11月2日	北海道森林管理局 治山課	帯広市（国有林） 広尾町（国有林）	国有林	49名	近年、集中豪雨等により各地で激 甚な災害が多発している状況を踏 まえ、被災箇所の迅速な復旧に必 要な災害発生直後の現地調査によ る被災箇所の把握技術向上のため、 勉強会を実施	<p>1日目は大規模災害発生直後の初動対応を迅速かつ効 率的に行うための災害調査の留意点、調査から災害申請 までの流れ等についての説明をした。</p> <p>2日目は現地調査手法のケーススタディとして、既設 治山施設の点検及び山腹・溪流の荒廃状況について、地 上とドローンを活用した上空から各班に分かれて調査を 実施した。</p> <p>最終日は前日の調査結果をとりまとめ、被災箇所の復 旧対策を発表した。</p> <p>参加者からは、「災害調査から復旧対策工等の検討ま で、一連の流れを学ぶことができ、有意義であった。」 等の感想をいただいた。</p>	
					民有林	名			
					自治体	5名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	54名			
								現地調査の様子	

平成29年度 現地検討会実施状況（治山技術の向上等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
治山施設	モサンル川治山工事現地検討会	11月14日	上川北部森林管理署	下川町（国有林）	国有林	24 名	天塩川水系名寄川上流域における魚道整備の品質向上のため、設計・施工技術向上に向けた現地検討を実施	<p>署担当者から国有林内において魚道を整備するに至った背景を説明した後、工事現場において施工中の魚道について意見交換を行った。</p> <p>有識者を含む出席者からは、「魚道上流側については、平常時及び洪水時といった流量が違うときに川がどのように流れるか把握した上で施工すべき」「魚道には、ダムを増設する他に石積み工法や掘り割り工法といった魚道もあることを知れた」等の意見があった。</p> <p>意見等については施工中及び今後施工する魚道に反映していくこととしている。</p> <p>また、魚道完成後は魚類の遡上状況を調査していく予定である。</p>	
					民有林	名			
					自治体	8 名			
					事業体	2 名			
					研究機関	2 名			
					その他	名			
					合計	36 名			
治山施設	串内地区治山災害復旧事業説明会	11月27日	上川南部森林管理署	南富良野町（国有林）	国有林	25 名	<p>事業の円滑化を図るため、台風10号により被災した富良野地区市町村の広域連合により運営されている「公共串内牧場」周辺の治山災害復旧工事について、工事概要や進捗状況等に関心の高い地域関係者へ説明</p>	<p>公共串内牧場を保全対象とした治山災害復旧工事において、特に関心の高い周辺管内市町村、関係団体へ工事の概要、進捗状況について施工現場で説明を実施した。</p> <p>参加者からは、「冬期の厳しい作業関係における事業体の連携や安全確保等の状況について」の質問が上げられた。</p> <p>今後も必要に応じて地域への情報発信を積極的に行う。</p>	
					民有林	名			
					自治体	11 名			
					事業体	2 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	38 名			

有識者等との意見交換

説明の様子